

——2025年 総会を終えて——

今年度の総会は5月18日（日）、ピーポート甘木会議室に出席者38名（委任状18名）の方にお集まりいただき、無事終了しました。コロナ後、各種の集会や学習会など人が集まらなくなった……とよく耳にしましたが、ご出席いただいた会員の皆様に心からお礼申し上げます。

また、市長に替わり朝倉市男女共同参画推進室の川上室長から激励のご挨拶をいただきました。4月に着任されたばかりで猛勉強中とのことでしたが、室長としての抱負や、取り組みの現状などにも触れ、今後連携し活動していく期待の持てるご挨拶でした。

2期目を担うにあたり、改めてNPO設立時の趣旨や定款を読み返し、現在の活動を振り返る機会となりました。社会の高齢化が進む中、組織の高齢化や会員数の減少は

避けられません。次世代の会員加入促進は喫緊の課題です。当会も設立当初から30年以上が経過しました。

「風おこしの会」が掲げる目的は、男女共同参画の住みよい地域づくりに寄与することです。そのために、豊かな人間性を養い、家庭・職場・自治組織・政策決定の場など、あらゆる領域で男女共同参画を推進していきます。

また、必要に応じて行政と協働し、地域の生活課題を解決するための活動や学習に取り組んでいきます。こうした目的は、時代や場所を問わない普遍的な課題です。

私たち会員一同は、これからも互いに学び合いながら、「地域に新たな風をおこす活動」を継続していきたいと考えています。

（理事長 師岡 愛美）



本年度の総会を開催しました

- ◎日時 2025年5月18日（日）
10：00～11：20
- ◎場所 ピーポート甘木第4学習室
- ◎出席者数 38名（参加者20名 表決委任者 18名）〈正会員 43名〉
- ◎議長 飯田早苗
- ◎議事署名人 上原幸子・堀 真由美
- ◎審議事項
- ①2024年度事業報告について
- ②2024年度活動決算並びに財産に関する件について
- ③監査報告について
- ④役員改選について
- ⑤2025年度事業計画（案）について
- ⑥2025年度活動予算（案）について

以下、役員改選以外は質疑応答の関係部分のみを掲載。

②2024年度活動決算並びに財産に関する件について

質問：貸借対照表及び財産目録の名目「基金」についての用途が尋ねられた。

回答：3年おきに作成していた記録誌「風」発行の予算であり、前年度の発行中止を受けその必要がなかったこと。なお一般会計に全額を繰り入れる予定である。

④役員改選について

任期満了につき下記の7名が選出された。

- 師岡愛美（理事長）
- 内山育子・別府恵子（副理事長2名）
- 石井千尋・古賀芳美・星野洋子・神本美恵子

⑤2025年度事業計画（案）について

意見：事業実施の方針について提案したい。今、社会の流れを見ていると「ジェンダー平等」という言葉を加えることが重要だと思う。

回答：確かにその通りだ。「ジェンダー平等」の言葉を原案に入れ今後の啓発を進めて行く。

⑥2025年度活動予算（案）について

質問：活動予算案が前年度に比べて高額になっている。説明して欲しい。

回答：今年度は他団体との交流会を計画しており貸し切りバス利用の金額である。

その後質問・意見はなく、第5号議案に文言を書き入れる事とし挙手により満場一致で原案通り承認された。

（星野洋子）

2025年度 役員

役名	氏名
理事長	師岡 愛美
副理事長	内山 育子
//	別府 恵子
理事（会計）	古賀 芳美
//（事務局）	星野 洋子
//	石井 千尋
//	神本 美恵子
監事	坂本 康子
//	佐々木 明子
実行委員 （めめめ編集委員）	池田 洋子
//	石井 正子
//	野田 暁子

情報ウォッチ！

〈ネパール訪問〉

コロナ禍で中断していたネパール訪問を7年ぶりに、3月31日から5日間実現できました。

故三重野栄子参議院議員が始められた「アジアの子どもと女性の教育基金の会（AWCEF）」（略称・基金の会）は、山岳、渓谷地域への学校建設、就学困難な女子への教育継続および自立のための支援を続けて今年で28年目です。

現在は現地NGO「ラブ・グリーン・ネパール」（LGN）との連携で奨学金を制度化し、毎年中・高校に通う女子への給付を続けています。

今回の訪問は、昨年「基金の会」としても支援して屋根修復できた学校訪問、社会人となっている元奨学生、現役高校奨学生

たちとの交流を通して、改めて「教育とは？」を考える旅でした。

「教育は何より重要な財産です」

（校舎の正面に書かれた言葉）

学び続けることの喜びと感謝を語り、母校のボランティア教員を経て、社会人として働き続ける生き生きとした奨学生の姿に「学ぶことと生きること」を日本の若者に体験してほしいと思いました。

（神本美恵子）



福岡県困難な問題を抱える女性への支援に関する基本計画

1 支援対象者の早期把握と、安心して相談できる体制の充実

- （1）支援対象者の状況に応じた相談体制の充実
- （2）外国人、障がいのある人、高齢者等に配慮した対応
- （3）アウトリーチ、居場所等の提供等による支援対象者の早期把握

2 一時保護体制の充実

- （1）一時保護体制の充実及び一時保護者の状況に応じた支援
- （2）同伴児童等への支援
- （3）心理的ケアの充実

3 生活の安定に向けた支援の充実

- （1）住宅の確保支援
- （2）自立のための支援
- （3）心理的ケアの充実

4 多様な主体との連携による支援の推進

- （1）民間団体との連携
- （2）市町村との連携
- （3）支援調整会議の開催
- （4）人材育成・研修

5 教育・啓発の推進

- （1）人権教育・啓発の推進
- （2）様々な機会を活用した幅広い教育・啓発の推進

～風の音～

女性会議のはじまり

今年90歳になる私は、総会の案内を見て今回が最後になるかもしれないという思いがして出席の返事を送った。代表は私の交通便を心配して、杷木の堀さんへ送迎を依頼していただき安心して出席。総会後はみなさんと楽しく歓談交流して思い出深い総会になり、大変うれしく思いました。

また代表は「風おこし会」と前身の「女性会議」あわせて今年34年の継続です、と発言しました。その言葉を聴いて、私は思わず36年前の忘れられない「出会い」を思い出していました。

それは平成元年の寒い日。大学教授・篠崎正美先生のお誘いで、婦人会関係・多田悦子さん、社会教育担当・谷口定子さんと私で、甘木に集まりました。

先生は「女性会議」趣旨文を提示され、

「まもなく21世紀や高齢社会を迎える今こそ、女性の力や連帯が必要です。そのために学習の場を作り、『生涯学習を進める甘木朝倉女性会議』を設立したい」とのお話でした。

私達は突然の提案で、女性会議や広域の学習等考えがなかったので、戸惑いながら具体的に資金や運営、内容等について色々話し合いました。

そして高等教育機関もない、のどかな環境にあって、これから女性が自立し地域生活課題を解決していく力を身につけるためには、行政だけに頼るのでなく、自分たちみずから学び、行動していくことが重要であると考え、私達は一步踏み出す決意をしました。早速次回は「女性会議」設立準備委員として、各市町村より1～2名選出して準備に入ることを約束して散会しました。ほんとうに大決意の日でした。

(上原幸子)

編集後記

記録的猛暑の中、参議院議員選挙が実施されました。真に熱いたたかいは、勢力の色分けが変わる選挙戦でした。

ネットやSNS上では、何を信じたらいのかと、今までの辻説法は通用しない舌戦(?)が繰り広げられ、私には少し恐ろしい展開でした。

皆様方はどう感じられましたか? 投票権の一票を活かすしか術のない私たちは見守ることしかないのでしょうか?

(野田暁子)



【追記】

七月発行予定が八月になりましたこと、心からお詫び申し上げます。(編集委員)

編集委員 野田暁子 石井正子 池田洋子

携帯やスマホからQRコードアプリを使って、右のQRコードを読み込めば、風おこしの会のサイトへ簡単にアクセスできます。ぜひ試してみてください。



←フェイスブック

風おこしの会HP→

